



☆ AWC事務局便り7・8月号 ☆

報告会「タイのストリートチルドレンの現状」

7月2日、猛暑の中、フォーラム南太田にてアーサーパッターナデッキ財団で、長年ストリートチルドレンの子どもたちにアートセラピーなどの活動をされている出羽明子さんの話を聞きました。

AWCではこれまで何度か出羽さんのチェンマイでの活動について話を聞く機会を設けていますが、今回は特に多くの方がご参加され（わざわざ高校生が大阪から夜行バスで来て下さいました！）大変盛り上がりました。

お話の中で特に衝撃的で印象に残ったのは、HIVに関する子どもたちの状況です。最近ではよい薬があるので、感染しても正しく薬を飲んで規則正しい生活をしていれば、以前と違って死を意識することなく、感染者も本来の寿命を全うできるのが現状ですが、チェンマイのストリートに暮らす子どもたちは依然として感染すると死に繋がるケースが多いということです。移民で国籍を持たないために医療にアクセスすることが難しい、規則正しい生活ができない、自分を大切に思えず自暴自棄になっているケースなどが原因です。

家族とうまくいかない寂しさなどから、次々とパートナーを変えてセックスする子どもやドラッグ使用したり、セックス産業に身を置く子どももいるため、感染のリスクはとても高い環境です。アーサーパッターナデッキ財団では、ピアエドゥケーターを育成し、子どもたちのコミュニティや民族の言葉を使ってアクティビティを行ったり、アートを使った啓発教育を実施して、子どもたちが性産業に取り込まれないようにするとともに、被害を受けた子どもの保護にも努めています。

今年5月末には、チェンマイで日本人が子ども買春の容疑で現地警察に逮捕されるという事件がありました。タイは日本よりも子ども買春や人身売買に関する法律が整備されている印象ですが、実際にはまだまだ多くのペドファイル（小児性愛者）が買春目的でチェンマイを訪れることがあります。現地警察が賄賂を受け取るなど態勢にも問題があるようです。このようなニュースにふれる度に、子どもたちの安全を真剣に守っているアーサーパッターナデッキ財団の活動の重要性を再認識します。来年も出羽さんのお話を聞く機会を持ちたいという意見を沢山いただきました。是非開催したいと思います。



出羽 明子さん（右側）



多くの方が参加してくださいました。

第23回AIDS文化フォーラム in YOKOHAMA

8月5日(金)～7日(日)「第23回 AIDS文化フォーラム in YOKOHAMA」が神奈川県民センターで開催されます。HIV/AIDSに関する様々な活動を行うNGO・NPOを始め、行政、学生、当事者が集まるフォーラムで、毎年3,000人の来場者があります。AWCは1階展示場で展示とタイの手工芸品の販売を行う他、プランでレッドリボンを作るワークショップを開催します。ご来場ください。



夏季休業のお知らせ

8月13日～17日はAWC事務局は夏季休業となります。18日からは通常通りです。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

